

社会资本総合整備計画 事後評価書

令和05年06月28日

計画の名称	南房総市宅地耐震化推進事業（防災・安全）											
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）											
交付対象	南房総市											
計画の目標	大規模盛土造成地を把握し公表したマップに基づき、箇所ごとの優先度を評価し計画的に進めるための第二次スクリーニング計画を作成し、市の総合的な防災対策を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	3	A	3	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	南房総市	直接	南房総市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査（南房総市）	第二次スクリーニング計画の 策定（5箇所）	南房総市					3	-				
																3					

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本総合整備計画の事後評価として南房総市で実施

事後評価の実施時期

令和5年7月

公表の方法

南房総市のホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

市内における盛土造成地の位置を把握し公表することで、市民に盛土造成地が身近に存在することを周知し、市民の防災に対する関心を高める効果が得られた。

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

大規模盛土造成地の情報の周知に努め、住民の防災意識の向上を図ることにより、安全・安心に暮らせる地域づくりを推進するとともに、第二次スクリーニング計画に基づき、大規模盛土造成地の点検を行い、必要に応じて第二次スクリーニングを実施する。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	対象地についてWebページにより住民周知度を100%にする。		
	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	